

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年10月29日

上場取引所 大

上場会社名 石原薬品株式会社
コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹森 莞爾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浅野 真司

TEL 078-681-4801

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,924		531		584		270	
20年3月期第2四半期	8,140	9.8	773	20.7	797	19.9	495	17.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	36.43	
20年3月期第2四半期	66.82	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	17,309	13,176	13,176	76.1	1,775.91	
20年3月期	17,480	13,015	13,015	74.5	1,754.17	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 13,176百万円 20年3月期 13,015百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		18.00		18.00	36.00
21年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,880	0.6	1,040	34.4	1,090	32.2	550	38.8	74.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	7,460,440株	20年3月期	7,460,440株
期末自己株式数	21年3月期第2四半期	40,757株	20年3月期	40,677株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第2四半期	7,419,750株	20年3月期第2四半期	7,419,927株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、資源高と海外経済の減速、輸出の鈍化、生産や設備投資の抑制、消費者心理の冷え込みなど国内景気の減速が鮮明になってまいりました。

このような状況下にあつて、売上高7,924百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益531百万円(前年同期比31.2%減)、経常利益584百万円(前年同期比26.8%減)、四半期純利益270百万円(前年同期比45.5%減)となりました。

事業分野別売上高及び概要は、次のとおりであります。

(事業分野別売上高)

(百万円未満切捨表示)

区分	事業分野	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	増減	平成20年 3月期
製品	金属表面処理剤及び機器等	2,642	2,604	38	5,481
	電子材料	218	201	16	464
	電子関連分野計	2,861	2,806	55	5,945
	自動車用品分野	595	547	47	1,135
	工業薬品分野	72	83	10	150
	製品合計	3,529	3,437	92	7,230
商品	金属表面処理剤及び機器等	344	447	102	704
	電子材料	1,700	1,379	321	3,151
	電子関連分野計	2,044	1,826	218	3,855
	自動車用品分野	212	270	57	423
	工業薬品分野	2,353	2,389	36	4,473
	商品合計	4,611	4,486	124	8,752
総合計		8,140	7,924	216	15,983

(概要)

電子関連分野が対応する電子部品業界は、携帯電話やパソコンなど最終製品需要の低迷が続き、北京オリンピックに伴う需要の盛り上がりも期待ほどでなく、また、クリスマス商戦に向けた夏場の部品受注も前期を下回る水準にとどまりました。このような状況下にあつて、金属表面処理剤及び機器等は、液晶関係、パンプ関係のめっき液が伸びているものの半導体関係は、需給関係やBGAタイプの増加等により伸びが鈍化しており、売上高は、3,051百万円(前年同期比2.2%増)にとどまりました。一方、電子材料のニッケル超微粉は、需要先の高容量セラミックコンデンサーの需要動向等により伸び悩み、半導体製造装置向けの機能材料加工品の部品需要も低調に推移し電子材料の売上高は、1,581百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

自動車用品分野は、自動車本体の品質向上等により自動車ケミカル品の使用量減少が続いておりカーアフターマーケットでの部品、用品販売は低調に推移しております。このような状況下にあつてカーメーカー向け自動車ケミカル品等の伸びもあり売上高は817百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

工業薬品分野は、建設需要の低下に伴い鉄鋼向け関連商品が減少したものの鋼板向け表面処理剤、化学、環境向け薬剤等の伸びもあり売上高は、2,473百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末より267百万円増加し2,895百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益が前年同期に比べ375百万円減少し425百万円となり、減価償却費127百万円、売上債権の増加99百万円、仕入債務の減少250百万円及び法人税等の支払224百万円等により116百万円(前年同期435百万円)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有価証券の取得による支出278百万円、売却、償還による収入634百万円等により301百万円(前年同期323百万円)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金返済による支出30百万円及び配当金の支払133百万円等により164百万円(前年同期137百万円)となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しは、輸出不振、設備や雇用の過剰感の広がりなど内外需とも不振の様相が見られ、また金融危機はより深まっており先行きの不透明感は増しております。

このような状況の中、通期の業績の見直しにつきましては、金属表面処理剤を中心に原材料価格高騰の影響が出てきていること、為替について円高基調が続く計画レートとの乖離が出てきていることなどを修正し、販売費及び一般管理費の節減を織り込んだうえ、なお一層の販売努力を行っていく所存ではありますが当初計画を下回る見込みであります。

当期の業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	16,640	1,670	1,660	1,010	136円12銭
今回発表予想（B）	15,880	1,040	1,090	550	74円13銭
増減額（B - A）	760	630	570	460	61円99銭
増減率（％）	4.6％	37.7％	34.3％	45.5％	45.5％
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	15,983	1,585	1,606	898	121円10銭

（注）上記業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期会計期間から適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更により営業利益は8,736千円減少しておりますが、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	2,898,517	2,637,353
受取手形及び売掛金	4,560,011	4,460,824
有価証券	661,501	810,892
商品及び製品	786,360	874,401
仕掛品	59,959	60,882
原材料及び貯蔵品	318,983	241,048
その他	116,902	143,531
貸倒引当金	3,654	3,576
流動資産合計	9,398,582	9,225,357
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,779,443	1,822,881
その他	967,212	951,453
有形固定資産合計	2,746,656	2,774,334
無形固定資産	17,065	14,218
投資その他の資産		
投資有価証券	3,953,498	4,277,265
その他	1,196,716	1,194,032
貸倒引当金	3,303	4,504
投資その他の資産合計	5,146,911	5,466,793
固定資産合計	7,910,633	8,255,346
資産合計	17,309,215	17,480,703
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,276,235	3,526,275
1年内返済予定の長期借入金	32,750	57,250
未払法人税等	164,645	233,421
賞与引当金	142,879	137,926
役員賞与引当金	5,450	21,800
その他	178,736	177,240
流動負債合計	3,800,696	4,153,914
固定負債		
長期借入金		6,250
退職給付引当金	94,290	95,921
役員退職慰労引当金	174,527	163,107
その他	62,994	46,016
固定負債合計	331,812	311,295
負債合計	4,132,509	4,465,209

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,721,281	1,721,281
利益剰余金	10,207,210	10,070,435
自己株式	43,628	43,527
株主資本合計	13,332,143	13,195,469
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155,436	179,975
評価・換算差額等合計	155,436	179,975
純資産合計	13,176,706	13,015,493
負債及び純資産合計	17,309,215	17,480,703

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
区分	金額(千円)
売上高	7,924,019
売上原価	5,862,015
売上総利益	2,062,004
販売費及び一般管理費	1,530,019
営業利益	531,984
営業外収益	
受取利息	19,838
受取配当金	13,116
為替差益	13,706
その他	19,744
営業外収益合計	66,406
営業外費用	
支払利息	2,564
売上割引	1,402
コミットメントフィー	9,115
その他	1,289
営業外費用合計	14,371
経常利益	584,019
特別利益	
貸倒引当金戻入益	1,200
特別利益合計	1,200
特別損失	
固定資産除却損	140
減損損失	173
投資有価証券評価損	159,783
特別損失合計	160,098
税引前四半期純利益	425,121
法人税等	154,790
四半期純利益	270,330

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(1) 前四半期損益計算書

	前第2四半期累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
売上高	8,140,690
売上原価	5,873,191
売上総利益	2,267,498
販売費及び一般管理費	1,493,791
営業利益	773,707
営業外収益	
受取利息	18,166
その他	32,777
営業外収益合計	50,944
営業外費用	
支払利息	2,771
その他	24,150
営業外費用合計	26,921
経常利益	797,729
特別利益	
投資有価証券売却益	2,355
貸倒引当金戻入益	1,000
特別利益合計	3,355
特別損失	
固定資産売却損	106
固定資産除却損	507
電話加入権評価損	49
特別損失合計	663
税引前四半期純利益	800,421
法人税等	304,612
四半期純利益	495,808

